

■肢体不自由のある子どもたちへの実践事例

マルチメディアDAISY図書が身近な読書活動の一つとして活用されることを目指して

横浜市立上菅田特別支援学校
岩崎 有美

本校の読書活動の取組

本校は、各教科に準ずる教育課程、知的代替の教育課程、自立活動を中心とする教育課程を設置している小学部・中学部・高等部計185名が在籍する肢体不自由の学校です。「校内読書活動コンクール」と「読書の旅」という取り組みを行っています。「校内読書活動コンクール」では全校児童生徒を対象に、毎年約40の作品が出展されます。司書教諭や学校司書、国語科、図工・美術科の教員で審査し、最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決めます。子どもたちの作品は、できるだけ多くの人に見てもらえるように校内作品展に展示しています。

子どもたちの取り組みの中には、マルチメディアDAISY図書を活用して取り組んだ子どもたちもいます。ここ数年、マルチメディアDAISY図書を活用した取り組みが少しずつではありますが増えてきています。

「読書の旅」は小学部低学年、小学部高学年、中学部、高等部、教職員と5つのグループで読書を競い合い、いろいろな旅をします。2020年度は船で全国

の主要港を巡る旅を企画しました。20冊借りたら次の港へと日本一周します。



読書の旅

図書室には、常時マルチメディアDAISY図書が読めるようにタブレット端末を設置するなど“図書室へ行きたい”“楽しい読書”につながる活動をと考えています。

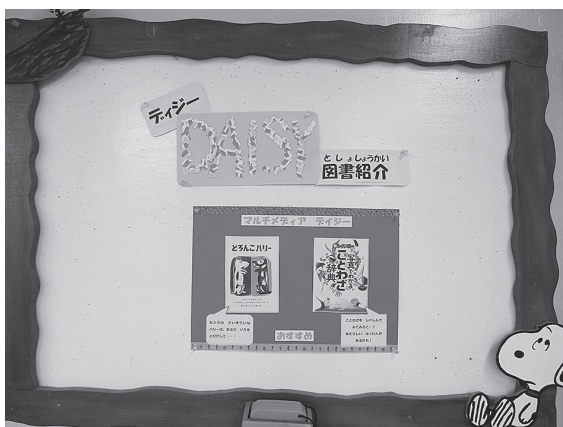


図書室内のマルチメディアDAISY図書コーナー

これまでの取り組みと現状把握

一昨年度よりICT教育担当者と連携を図り、各クラスのタブレット端末に「イーリーダー」を入れてもらい、校内ネットワークを活用していつでもダウンロードできるように環境を整えました。

また、図書館の掲示板におすすめのマルチメディアDAISY図書を毎月更新する形で紹介するようにしました。



おすすめ掲示板

これらの取り組みの効果がでたのか、教員へのアンケートでは、次のような結果がでました。

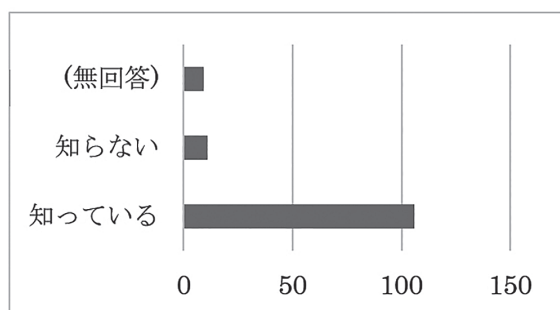


表1 マルチメディアDAISY図書を知っていますか

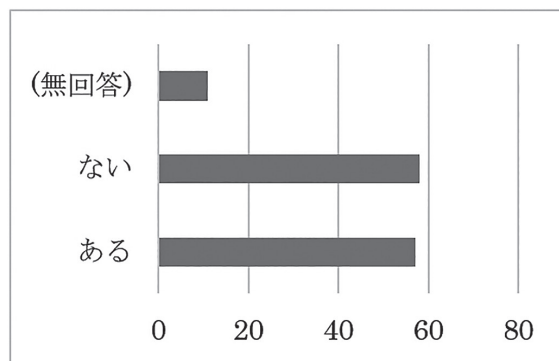


表2 今年度、見たたり読んだりしたことがありますか

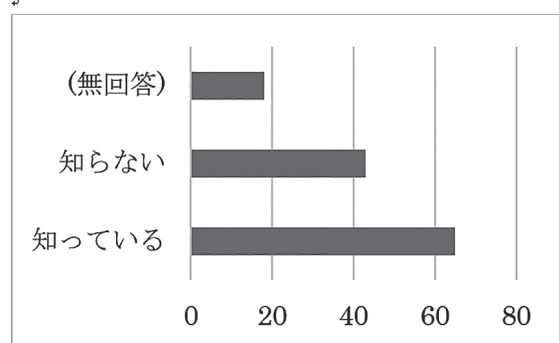


表3 各クラスのタブレット端末で活用できることをしていますか

ほとんどの教員が「知っている」との回答がありました。昨年度、「見たたり読んだりしたことがある」教員は約20人に対して、今年度は57人と2倍に増えました。各クラスのタブレット端末で活用できることを知っている項目も半数以上の回答「知っている」でした。少しずつではありますが、広まりつつあるのを感じることができます。

また、今年度は校内ネットワークを活用してダウンロードができることにも触れた項目を設定しました。

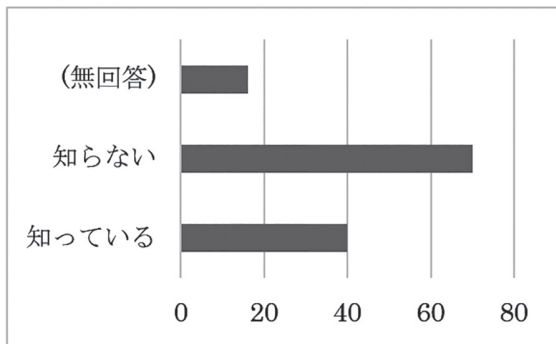


表4 ダウンロードできることをしていますか

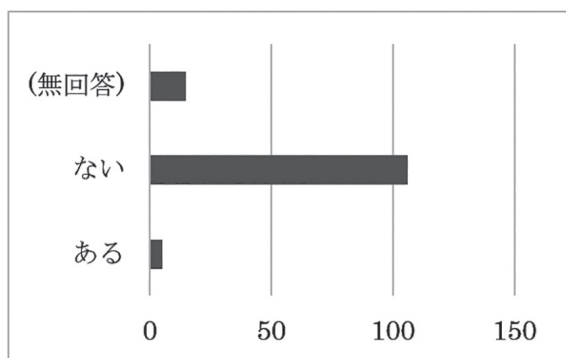


表5 ダウンロードしたことありますか

この結果から、ダウンロードできることを知っているのは約30%にすぎませんでした。また、ダウンロードしたことのある教員は約4%でした。授業での活用についても項目を設定しました。結果は表6のようになりました。

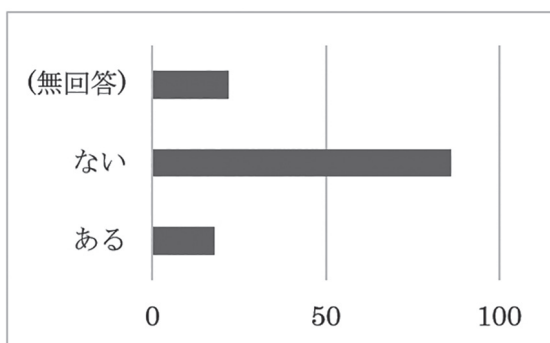


表6 授業で活用したことがありますか

「ある」と回答があったのは、17%でした。授業での読み聞かせでの活用が一番多かったのですが、中には「家庭科で、衣服の役割についての導入で、職業当てクイズに活用した」「音読の練習に活用した」という回答もありました。

本年度の実践について（校内読書活動コンクールへの取組）

*小学部 5年3名

『バスにのって』

●ねらい

マルチメディアDAISY図書に親しみ、図書を通して友だちとの交流を深める。

●児童の様子

テレビ画面で見ながら読み進めました。朗読された言葉を繰り返して言ったり、気に入った場面になるとじっと画面を見つめたり、拍手をしたりする様子がみられました。作品を作る活動では、物語に出てくる「トンパットン」のリズムに合わせて、筆や手を動かして楽しく活動しました。

●活動後の児童の成長

友だちと一緒に活動をして共通体験をすることで、友だちを意識するようになってきました。また、マルチメ

ディアDAISY図書へも興味をもてるようになりました。



『バスにのって』

* 中学部 3年

『わにさんどきっはいしゃさんどきっ』

●ねらい

- ・マルチメディアDAISY図書を通して、読書活動に取り組む。
- ・1冊分を集中して聴き、自分の感じたことを表出、表現する。

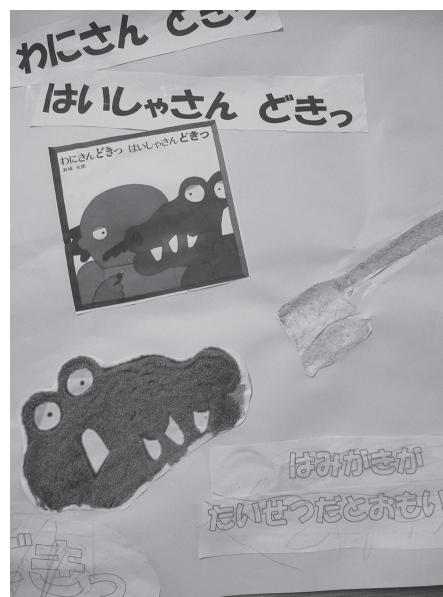
●生徒の様子

注目や傾聴することがむずかしく、読書が苦手な生徒がマルチメディアDAISY図書には興味をもつ様子がみられました。落ち着いた表情でiPadの画面に視線を向けたり、聞こえてくる声に耳を傾けたりする様子が見られまし

た。作品を作る活動の前には、図書室でマルチメディアDAISY図書を読んでから取り組むようにしました。読んだ感想を尋ねると、自分の気持ちを表情や発声で伝えることができました。教員と一緒に文章を作ることもできました。

●活動後の生徒の成長

給食後の歯磨きの場面で「本のわにくんと同じだね」と伝えたと、本の内容を思い出して笑みを浮かべる場面も見られました。この活動をいろいろな場面で楽しむ姿が見られました。



『わにさんどきっはいしゃさんどきっ』

おわりに

今年度は図書室を覗き込むと、マルチメディアDAISY図書を手にとり、見たり聴いたりしている子どもたちの姿をよく見かけました。教員へのアン

ケートでも、以前は知らない、見たり読んだりしたことが無いという回答が圧倒的に多かったのですが、知っているの回答が90%を超えました。各クラスのタブレット端末で活用できることを知っている教員も60%になりました。マルチメディアDAISY図書の存在を知ってもらうためには、今年度取り組んだ「おすすめのマルチメディアDAISY図書紹介」の掲示が少しは効果的であったのではないかと感じました。

今後は、いつでもどこでも活用でき

るような環境を整えていくことが大切になってくるかと思います。タブレット端末へのダウンロードの仕方などを周知していきたいと思います。また、これからはGIGAスクール構想で一人ひとりがタブレット端末を活用する時代になります。いま以上に、マルチメディアDAISY図書の活用を促すチャンスだと思っています。今後は、いろいろな授業に活用できることを伝えていきたいと思います。

